

# 事業説明

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
2022年1月7日



# 目次

- |    |                    |          |
|----|--------------------|----------|
| 1. | グループ概要             | P 3 ~ 15 |
| 2. | 中期経営計画（サステナビリティ戦略） | P16 ~ 29 |
| 3. | 今期の取り組み紹介          | P30 ~ 35 |

---

# 1. グループ概要



**Environment** (環境)

**Protect** (保護)

**Professional** (専門家)

既に**70**年間資源循環に取り組み社会の資源循環インフラの一翼を担っています



**1950** 佐野マルカ商店創業  
(鉄スクラップ事業)



**1992** 貿易事業開始



**1997** 本社工場に大型シュレッダー導入



**2007** エコネコルへ商号変更



**2010** エコネコル・ホールディングス設立  
**2010** エンビプロ・ホールディングスに商号変更  
(純粋持株会社)



**2013** 東証2部上場



**2018** 東証1部上場

# グループ概要



**本 社** 静岡県富士宮市田中町87番地の1  
**代 表 者** 代表取締役社長 佐野富和  
**設 立** 2010年5月  
**グループ会社** 連結子会社14社(孫会社含む)、持分法適用関連会社2社  
**従 業 員 数** 単体47名(連結472名) ※2021年6月末現在



## グループ会社紹介

**株式会社 エコネコル**  
 金属やプラスチック、廃棄物のリサイクルを中心とした資源循環事業を展開。  
 〒418-0111  
 静岡県富士宮市山宮3507番地の19  
 TEL: 0544-58-5800 FAX: 0544-58-5807

**株式会社 クロダリサイクル**  
 創業者の「目の前のたったひとつのものをおろそかにしない」理念を追求する、地域に密着したリサイクル事業を展開。  
 〒041-0824  
 北海道函館市西栢根町246番地27  
 TEL: 0138-49-8880 FAX: 0138-49-8960

**株式会社 しんえこ**  
 「もったいないBOX」「かたづけ隊」など地域に密着したリサイクル事業所としての受賞歴もあり。  
 〒390-0852  
 長野県松本市島立2346  
 TEL: 0263-47-3211 FAX: 0263-47-3213

**株式会社 東洋ゴムチップ**  
 半世紀にわたりゴム工業資源の有効活用を行う再生ゴムのバイオニア企業。幅広い用途開発を行い、各種施設の安心・安全に貢献。  
 〒371-0215  
 群馬県前橋市粕川町深津1573番地  
 TEL: 027-285-3131 FAX: 027-230-6008

**株式会社 NEWSCON**  
 「世界を身近にする会社」を目指し、鉄スクラップや非鉄、バイオマス燃料などの資源をグローバルに流通・販売し、国際的な資源循環に貢献。  
 〒105-0003  
 東京都港区西新橋1丁目16の3  
 第1東洋海ビル4階  
 TEL: 03-3502-1022 FAX: 03-3502-1024

**株式会社 3WM**  
 日本の高品質な中古自動車や部品を世界に供給。中古部品の国際間流通もを行い、中古自動車・部品の世界規模でのリユースを促進。  
 〒455-0036  
 愛知県名古屋港区浜二丁目3番5号  
 薬港ビル2F  
 TEL: 052-659-5200 FAX: 052-659-5208

**株式会社 VOLTA**  
 リチウムイオン電池、ニッケル水素電池からニッケル・コバルトなどの希少金属を回収・再資源化。使用箇体のリサイクル事業も展開。  
 〒418-0111  
 静岡県富士宮市山宮3507番地の19  
 (株式会社エコネコル内)  
 TEL: 0544-66-3132 FAX: 0544-66-3133

**株式会社 アストコ**  
 障がいのある方がご自分に合った職に就き自立できるよう、知識・技能の修得、生活の安定や社会との関わり方を身につけるサポート事業を展開。  
 〒390-1241  
 長野県松本市新村2932-15  
 TEL / FAX : 0263-31-6098

**株式会社 ブライトイノベーション**  
 環境戦略やCO<sub>2</sub>削減戦略の立案などをサポートとするコンサルティングサービスと、再エネ導入などのソリューション提案を行う事業も展開。  
 〒104-0033  
 東京都中央区新川一丁目23番5号  
 SHINKAWA EAST 2F  
 TEL: 03-6280-3936 FAX: 03-6280-3937

**株式会社 アビズ**  
 株式会社ユー・エス・エスとの合併事業。廃自動車などの廃棄物の破碎・選別処理を行い資源に還元する、独自システムのリサイクル事業を展開。  
 〒455-0026  
 愛知県名古屋港区昭和町14番地24  
 SHINKAWA EAST 2F  
 TEL: 052-619-6600 FAX: 052-619-6601

**株式会社 富士エコサイクル**  
 株式会社富士通ゼネラルを含む家電メーカー5社との合併事業。環境と経済が両立した循環型社会をつくるための家電リサイクル事業を展開。  
 〒431-1304  
 静岡県浜松市北区細江町中川11930番地4  
 TEL: 053-523-1152 FAX: 053-523-1153

- 資源循環事業
  - グローバルトレーディング事業
  - リチウムイオン電池リサイクル事業
  - 障がい福祉サービス事業
  - 環境経営コンサルティング事業
- 連結子会社  
■ 持分法適用関連会社

# 事業セグメント

## 資源循環事業

廃棄物や資源物のリユース・リサイクル・リマニュファクチャリングを進めることで、限られた資源の有効活用と廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物から再生原材料を製造し、新たな価値を世の中に提供しています。

## グローバルトレーディング事業

日本を含めた世界各地で発生する金属スクラップ・その他資源物を多国間で流通させるとともに、日本製中古車や中古車部品をはじめとする中古品をグローバル市場に展開しています。

- 株式会社 NEWSCON
- 株式会社 3WM

## その他事業

障がいのある方の就業や地域生活などにおける自立支援をサポートする「障がい福祉サービス事業」と、企業の環境戦略・CO<sub>2</sub>削減計画の支援などを行う「環境経営コンサルティング事業」を展開しています。

## 資源循環事業



リユース/リサイクル/  
リマニュファクチャリング

エンビプロ  
グループ



グローバルトレーディング事業

- 株式会社 エコネコル
- 株式会社 クロダリサイクル

- 株式会社 しんえこ
- 株式会社 東洋ゴムチップ

持分法適用関連会社

- 株式会社 アビツ
- 株式会社 富士エコサイクル

## リチウムイオン電池リサイクル事業

リチウムイオン電池をはじめとする充電式電池のリサイクルを通して、ニッケル・コバルトなどのレアメタル(希少金属)の資源循環システムの確立および限りある資源の有効活用に貢献しています。

- 株式会社 VOLTA



リチウムイオン電池リサイクル事業



障がい福祉  
サービス事業



環境経営  
コンサルティング事業

## その他

- 障がい福祉サービス事業
- 株式会社 アストコ

- 環境経営コンサルティング事業
- 株式会社 プライティノベーション

# グループ活動拠点



連結子会社(海外含む)

14社



国内工場拠点

9拠点



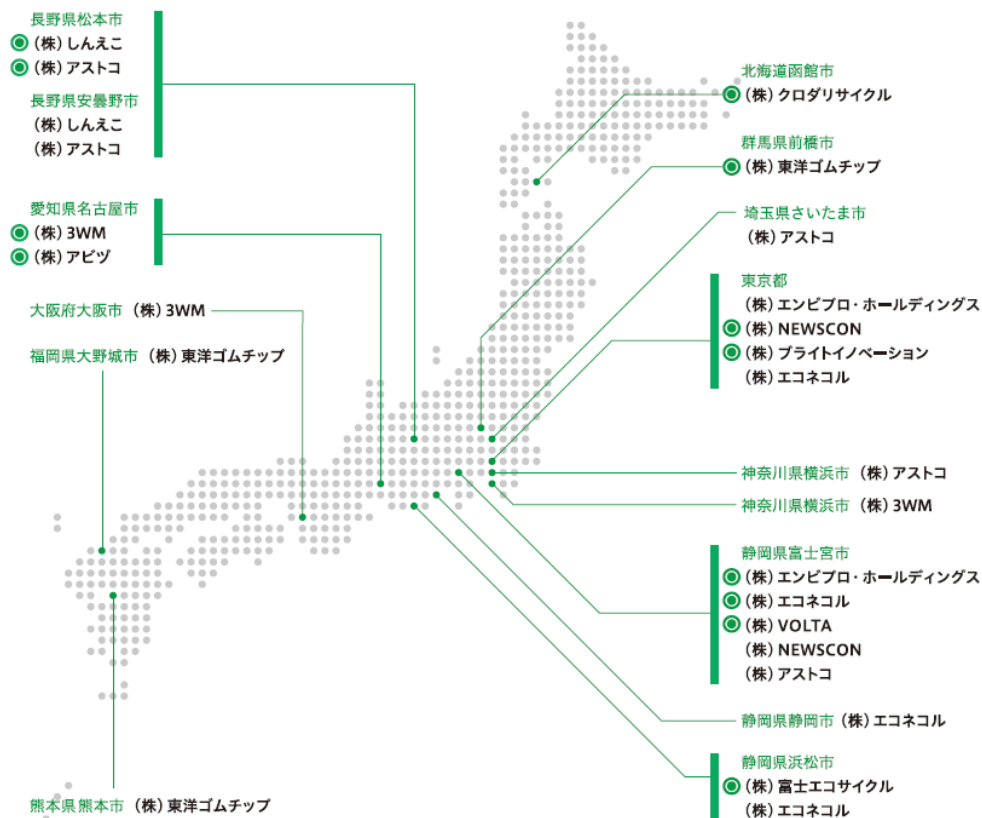
ヤード数

14カ所

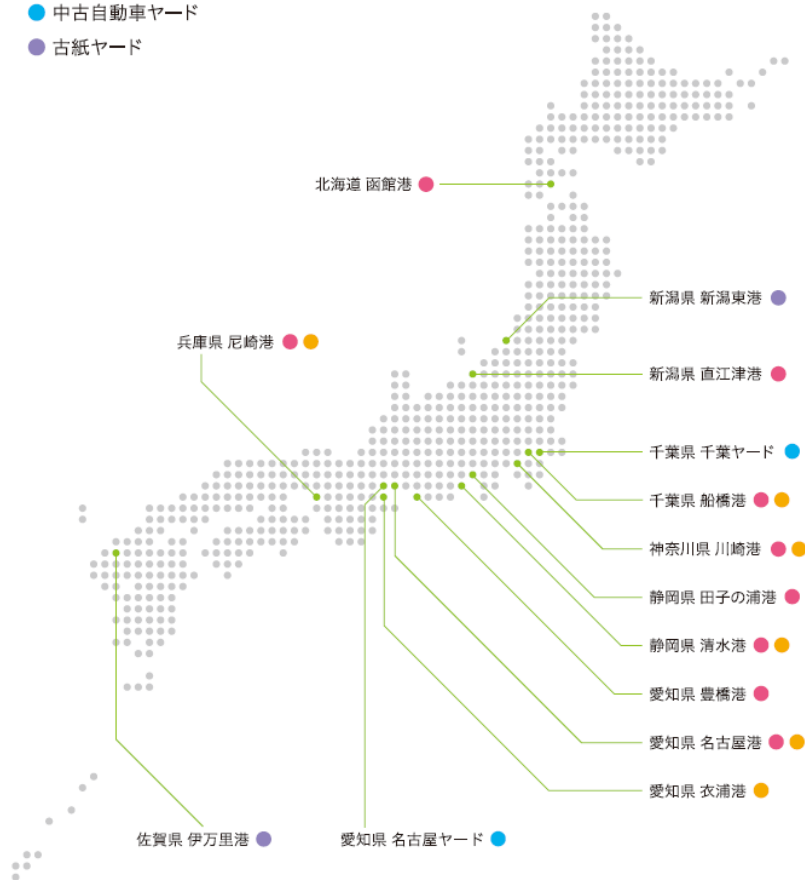
## 国内拠点

## 船積拠点

本社 = ●



- 鉄スクラップヤード
- 非鉄スクラップヤード
- 中古自動車ヤード
- 古紙ヤード





# グループ活動拠点



海外拠点数

7拠点



取引国

39カ国

- リサイクル資源営業拠点
- 中古自動車拠点
- バイオマス燃料拠点

イギリス  
NEWSCON欧州駐在所



UAE  
Japan Coast Used Cars and  
Spare Parts Trading



マレーシア・クアantan  
Mine Biomass Synergies  
PKS集荷拠点



ベトナム  
NEWSCONベトナム駐在所



シンガポール  
Mine Biomass Synergies  
Pte Ltd



インドネシア  
Mine Biomass Synergies  
PKS集荷拠点



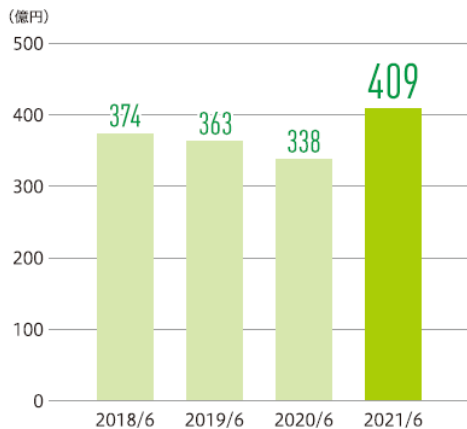
チリ  
3WM Chile Import Export  
Limitada



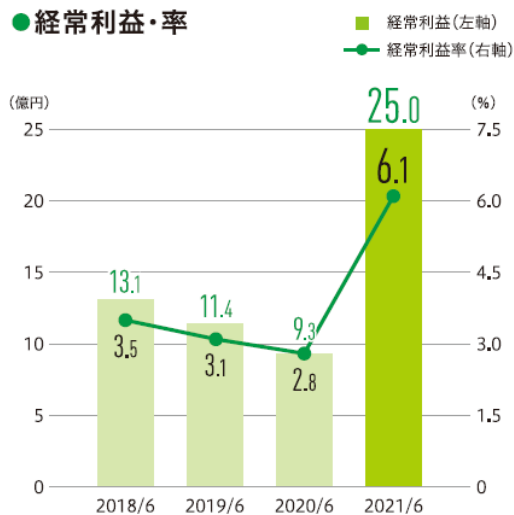
# 財務・非財務 OUTLOOK (2021年6月期)

財務

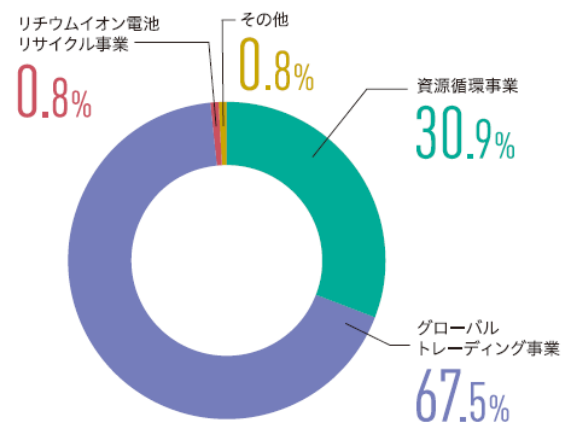
## ●売上高



## ●経常利益・率



## ●セグメント別売上構成



非財務

## ●子会社



## ●拠点数



## ●品種別取扱量

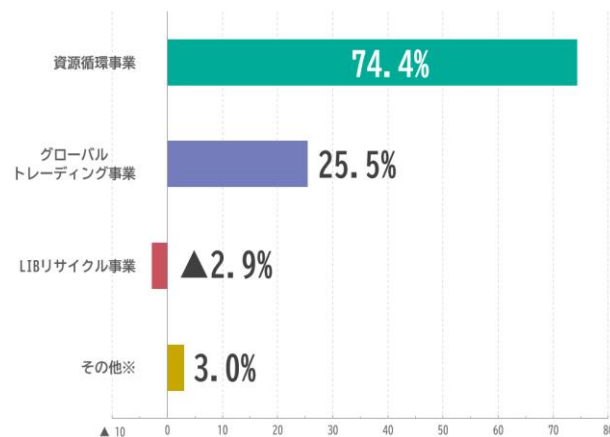
鉄	578千t	非鉄金属	21千t
金銀滓*	3千t	ゴム製品	10千t
RPF等燃料、製紙原料等	57千t	ブラックマス*	0.6千t
その他	20千t	合計	693千t

※金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物  
 ※ブラックマス：カーボンが含まれているコバルト、ニッケルの濃縮滓

## ●再資源化率

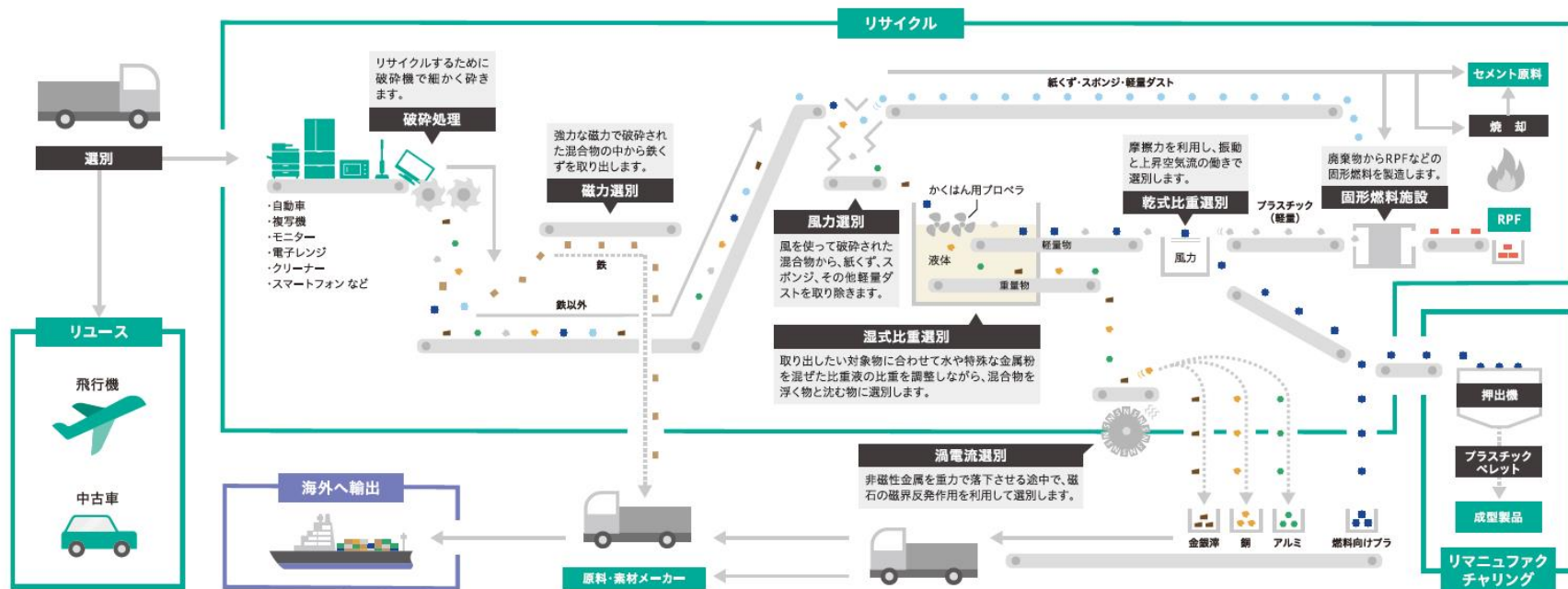


## ●セグメント別利益構成



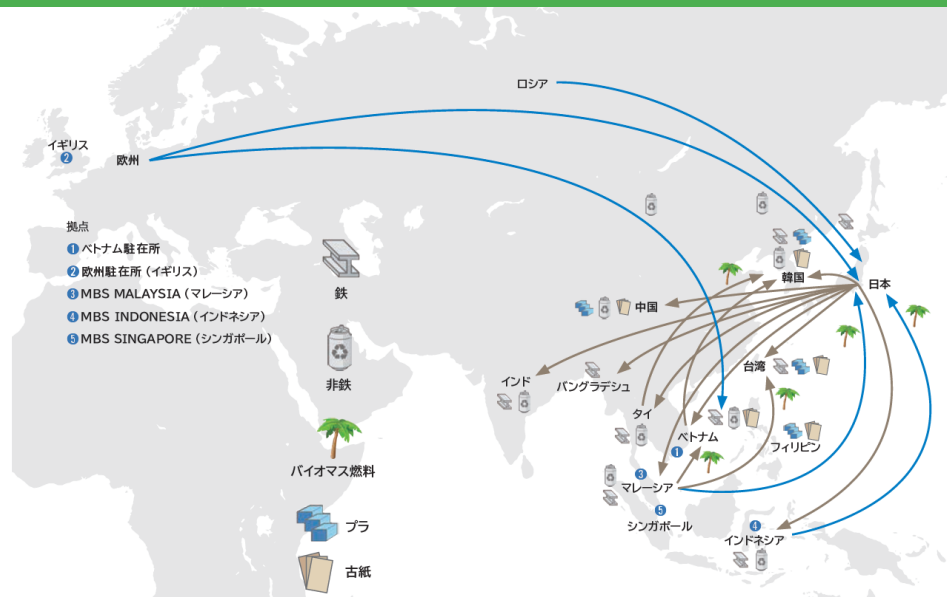
# セグメント 資源循環事業

廃棄物や資源物のリユース・リサイクル・リマニュファクチャリングを進めることで、限られた資源の有効活用と廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物から再生原材料を製造し、新たな価値を世の中に提供しています。



# セグメント グローバルトレーディング事業

金属、プラスチックスクラップ、バイオマス燃料等の多様な資源と、高品質な中古自動車、重機、トラック等の多様なリユース商材を扱う。全世界で発生する商材を「より必要とされるところへ」流通を行います。



## 製鋼原料・非鉄金属・木質ペレット等

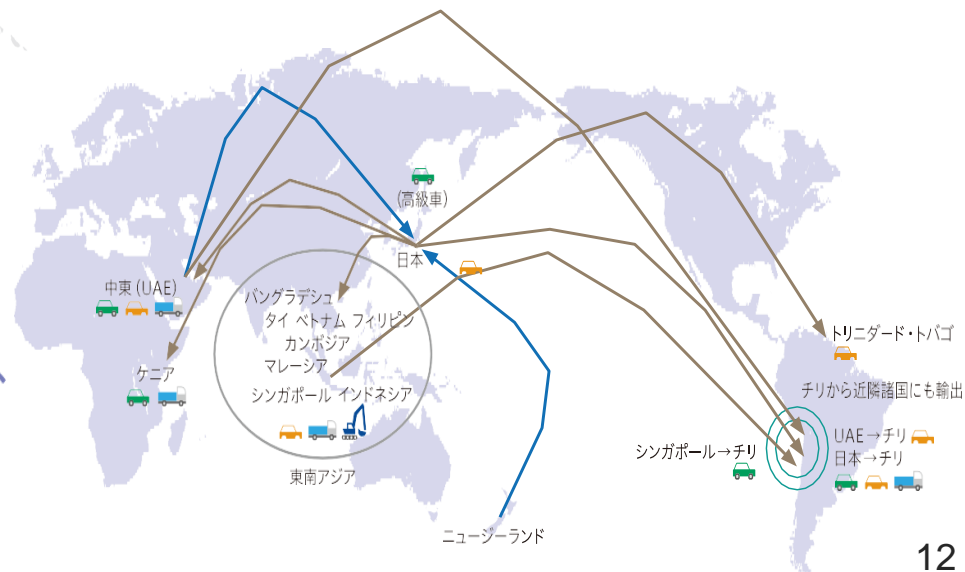


「世界を舞台に新しいビジネスを創造」を理念に  
グループ全体の海外事業拡大の役割を担うと共に  
世界の循環型社会の実現に貢献。

## 中古自動車・トラック・重機等



物質資源やエネルギー資源の効率的な利用を推進し、  
持続可能社会への貢献と  
世界各地の地域経済向上に貢献。



# セグメント リチウムイオン電池リサイクル事業

急拡大する二次電池市場に対し、グループの経営資源を集中的に投入して、使用済み二次電池等からのレアメタル（ニッケル・コバルト等）回収事業を本格化しています。

## 電極板リサイクルライン



## BM製造ライン



※LIB：リチウムイオン二次電池

※活物質：電池の電極材料で電気を起こす反応に関与する物質、活物質にはコバルト、ニッケル等が含有されている

※BM：ブラックマス（カーボンが含有されているコバルト、ニッケル濃縮滓）

障がいのある方の就業や地域生活などにおける自立支援を社内に専門家を配置してサポートするとともに、労働力減少が進む社会の課題解決に貢献します。

## 障がいのある方が活躍できる機会を創出



### 就労継続支援B型事業（エコミット）

一般企業で働くことが難しくても、社会の一員として自信と生きがいを持って社会参加できるような場として、グループ会社や地域の企業、農業等と連携して取り組み、作業に応じた工賃を支給しています。



### 就労移行支援事業（ブライト）

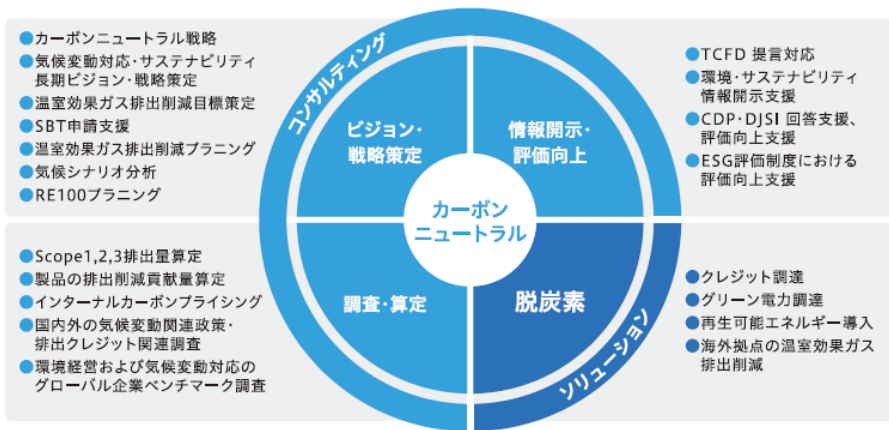
就職を目指す障がいのある方に、就職に役立つカリキュラムや就職活動のサポートを実施しています。また就職後も長く働き続けられるよう、職場定着の支援活動にも取り組んでいます。



環境分野のプロフェッショナルとして企業の持続可能経営を支援。企業の事業戦略に連動した実務的なコンサルティングとソリューションで、クライアントの環境経営を促進します。

## カーボンニュートラル戦略、GHG削減などのカーボンニュートラルと資源循環スキーム構築等のサーキュラーエコノミーコンサルティングの環境専門のコンサルティングファーム

### 脱炭素化の推進と気候変動対応



### サーキュラーエコノミーの推進



## 2. 中期経営計画（サステナビリティ戦略）

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| ①環境分析・マテリアリティ       | P17 ~ 20 |
| ②目指すべき姿             | P21 ~ 28 |
| ③中計 ~サステナビリティ戦略の概要~ | P29      |



## 長期トレンド

**GX**  
グリーントランスフォーメーション

**DX**  
デジタルトランスフォーメーション

## 中期・短期トレンド

カーボンニュートラル  
の進展

サーキュラーエコノミー  
の進展

プラスチック  
資源循環促進法

ポストコロナ  
(非対面・非接触)

米中貿易摩擦

就労人口の減少

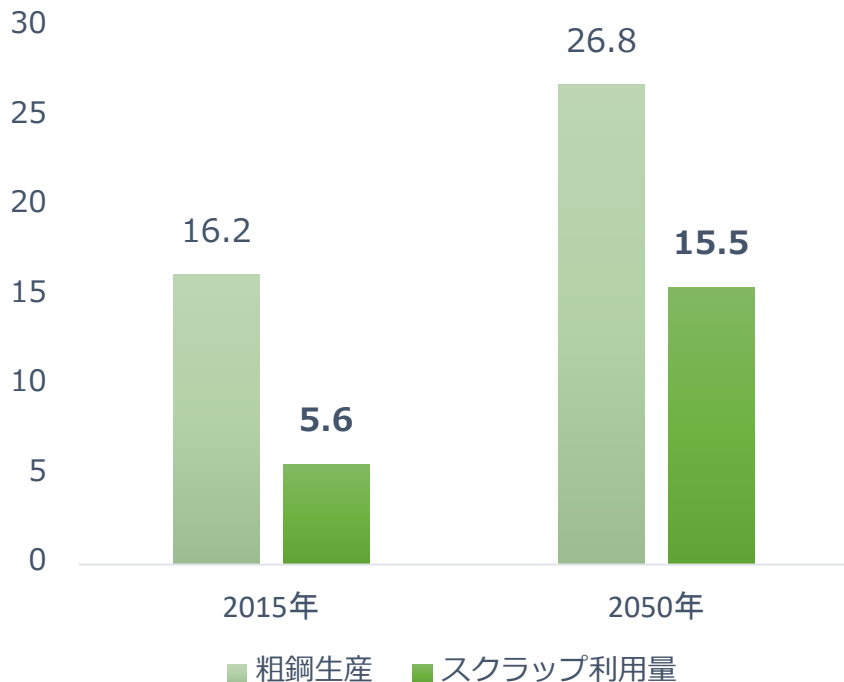
マテリアリティの特定要素：事業へのインパクト、当グループの強み、社会に与える影響

## マテリアリティ の特定

- ・ サプライチェーンにおけるグリーンマテリアルの需要増加
  - ① 電炉増設による鉄スクラップの需要増加
  - ② 電化による非鉄金属・レアメタルの需要増加
  - ③ 廃プラスチックの高度な資源循環促進
- ・ 経営活動の全てのプロセスでGX、DXの推進
- ・ 就労形態の多様性推進と省人化・無人化の促進

## 世界の鉄鋼生産予測 粗鋼生産：スクラップ利用量

(単位：億 t)



出所：一社) 日本鉄鋼連盟「長期温暖化対策ビジョン (鉄鋼蓄積並びに鉄鋼生産等推移想定)」  
2018年11月19日公表 より引用して抜粋 (抜粋した数値を基に当社グラフ作成)

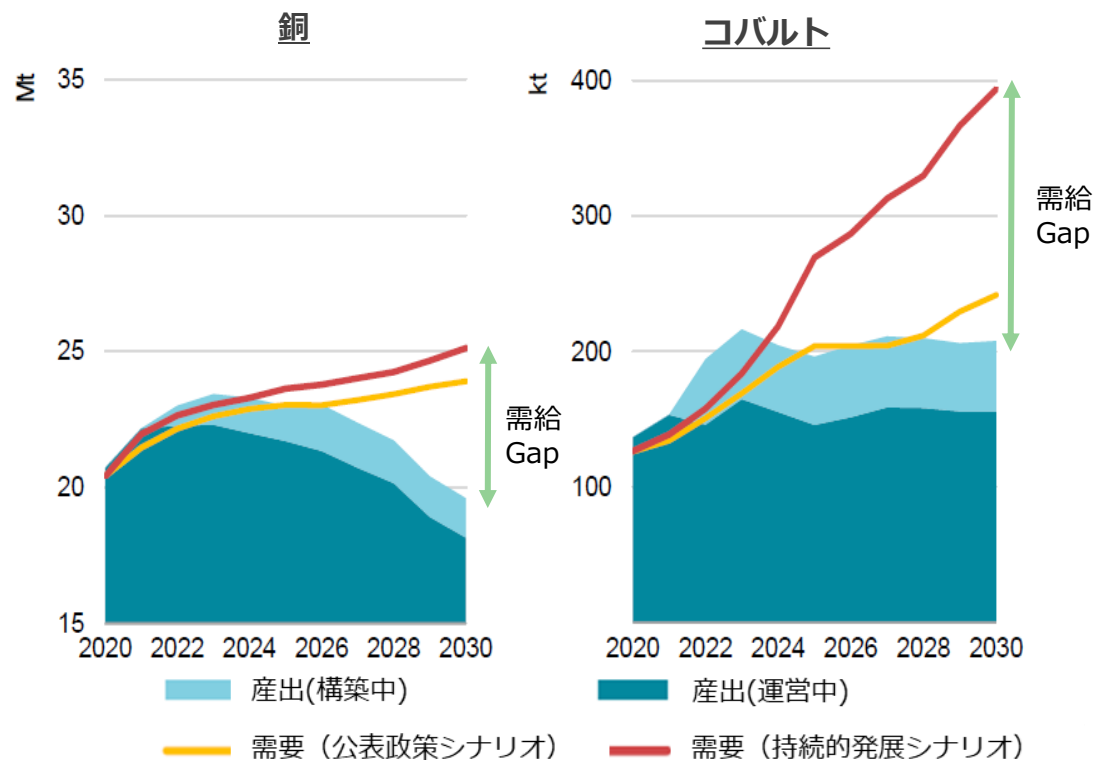
- 高炉に比較して製造プロセスのCO<sub>2</sub>排出量が1/4である電炉では、エネルギー源が電力であるため供給する電力を再エネにすればカーボンニュートラルを実現

出所：環境省HP「中長期ロードマップ小委員会 (第5回) 議事録」

- 高炉メーカーの大型電炉設備の新設、転炉での鉄スクラップ混合率の上昇

脱炭素化の社会では、鉄スクラップ (グリーンマテリアル) 需要の拡大が見込まれる

## ■ クリーンエネルギー技術の普及による非鉄金属・レアメタルの需給ギャップ



■ 需要に対して供給が不足する事が予測され、これらの非鉄金属・レアメタル価値は高値安定で推移する可能性がある

出所：IEA World Energy Outlook Special Report 「The Role of Critical Minerals in Clean Energy Transitions」  
日本語訳：当社

脱炭素化の加速は地上資源（都市鉱山）からの非鉄金属・レアメタルの2次原料（グリーンマテリアル）需要をより一層拡大させる

## ■ 廃プラスチック問題に対応した世界の政策動向

気候変動対応

諸外国の廃プラ  
輸入規制

海洋プラスチック  
問題

- 気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化・海洋プラ問題等への対応を契機として、プラスチックの資源循環を一層促進する重要性が高まっている

国際的な廃プラスチック問題への政策動向

日 本

- 第4次循環型社会形成推進計画
- プラスチック資源循環戦略
- プラスチック製買物袋有料化
- **プラスチック資源循環促進法**

欧 州

- サーキュラーエコノミー政策パッケージ
- EUプラスチック戦略
- 使い捨てプラスチック禁止指令
- CEアクションプラン

脱炭素化の流れはプラスチックのライフサイクル全般での  
サーキュラーエコノミーへの移行を加速させる

## (企業理念)

エンビプロ・ホールディングスが最も大切にしている価値観でありDNA  
[時間軸無し]

**「創業企業」 「循環企業」 「求道企業」**

## (ミッション)

エンビプロ・ホールディングスが現在世の中に存在する意義であり、  
一定の時間軸での目的・志  
[2050年までの30年間]

**「持続可能社会実現の一翼を担う」**

## (戦略コンセプト)

「脱炭素社会」「循環型社会」「分散型社会」実現に向けた  
課題解決を事業機会としてチャレンジしていく。

## (事業コンセプト)

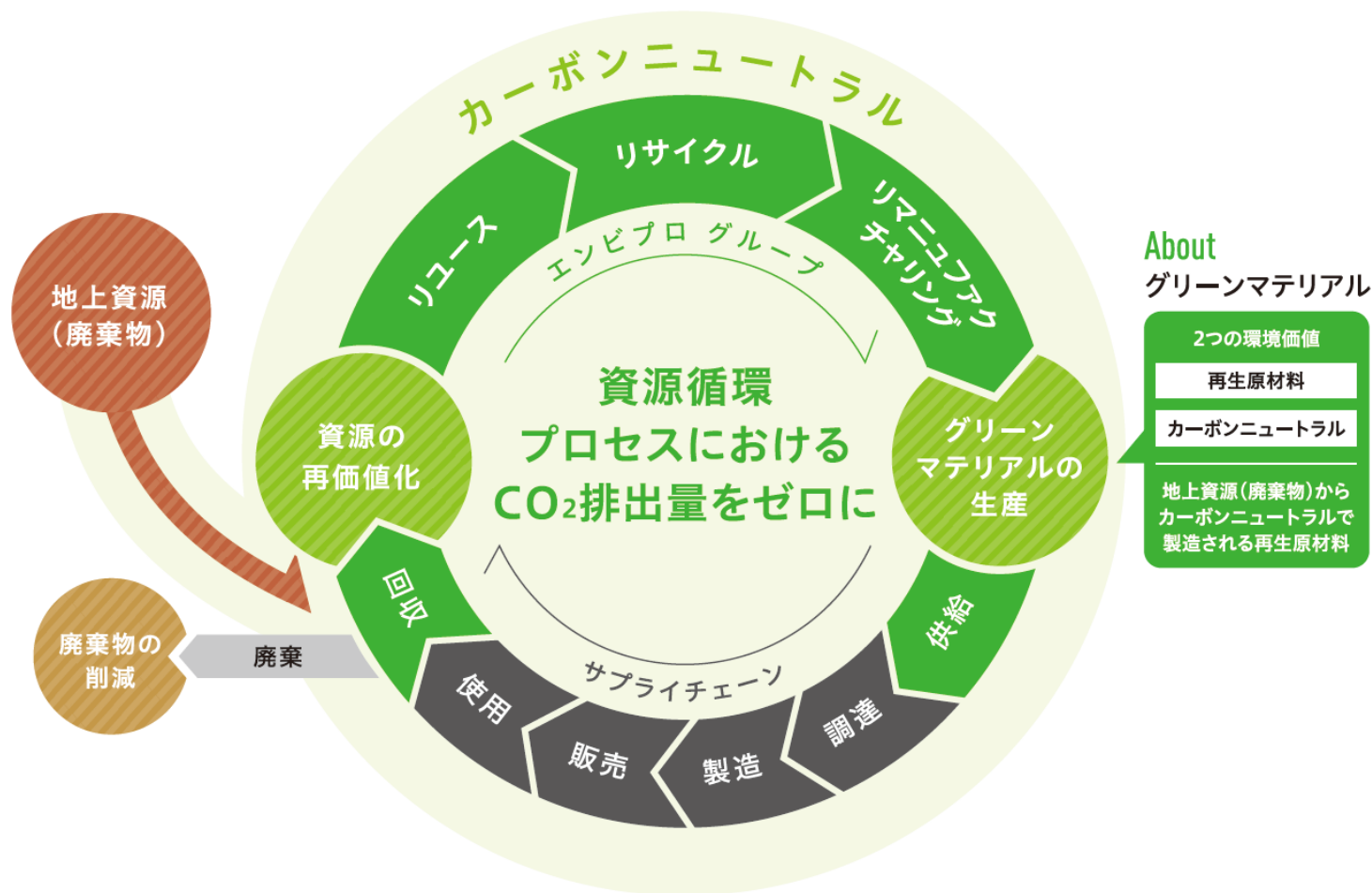
サーキュラーエコノミーの  
具体的な事例の実現

## (組織のイメージ)

創発的能力を備えた自律した  
個人の規律ある集団

# エンビプログループのサーキュラーエコノミーモデル

カーボンニュートラルをベースにしたサーキュラーエコノミーモデルの構築で  
経済的価値、環境的価値、社会的価値の向上を目指す。



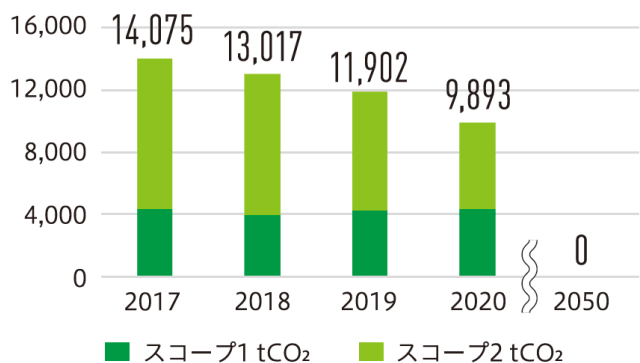
## 低炭素プロセスによる地上資源由来の素材メーカーに変革 (QCDC)

**2018年** 2050年使用電力を再生可能エネルギー100%宣言 (RE100加盟)

**2020年** 2050年カーボンニュートラル宣言

RE100宣言の前倒し 2050年迄 → 2030年迄

スコープ1+2 CO<sub>2</sub>排出実績と目標 (t)



### CO<sub>2</sub>排出削減への具体的取り組み

エンビプロ グループの  
事業で使用するCO<sub>2</sub>排出量の約65%が電力由来

再エネ率は現時点で95%を達成済み

→ CO<sub>2</sub>排出量は60%削減の見込み (2021年度)

RE100を推進し着実に工場 (Scope1,2) のCO<sub>2</sub>排出量の削減を実施

低炭素プロセスによる生産 → より低炭素な原材料、燃料の供給

Q (品質) C (コスト) D (納期) で一流の製造業に匹敵するレベルになる。  
その上でC (カーボンニュートラル) の要素を加えた製造プロセスをつくる。

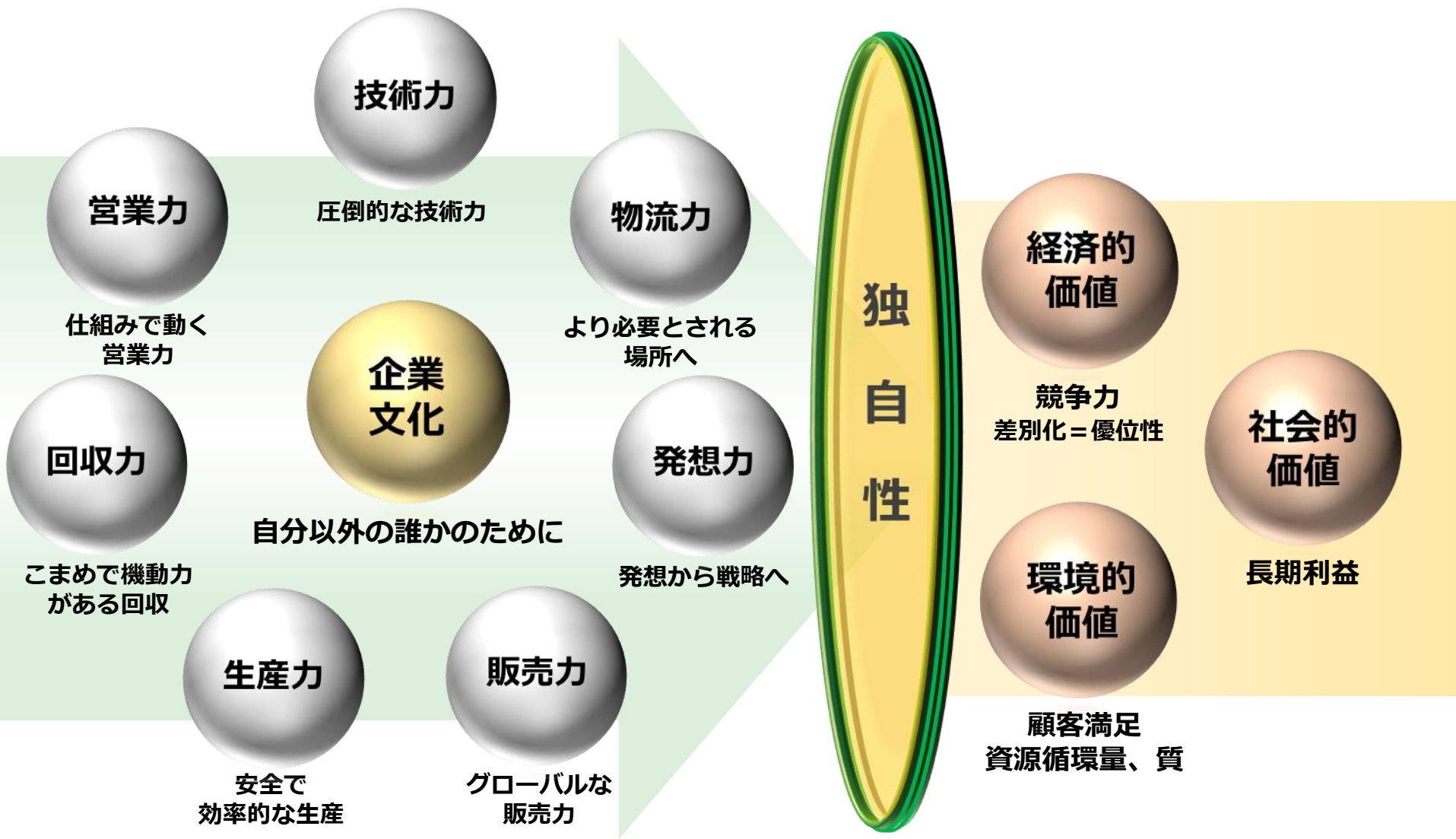
# エンビプロが目指す企業価値とは

経済的価値、環境的価値、社会的価値を高め、それを持続するためのガバナンスを強化して社会から強く必要とされる会社になる。

また、その目的に向かって社員一同が生き生きと働く良質なエネルギーに満ちた「場」を作る。



経済的価値、環境的価値、社会的価値を高めるため良い企業文化をベースに競争優位な組織の個別機能を愚直に鍛え続ける



## 事業戦略を推進するために

圧倒的技術優位性を保有し、それを常に革新し続ける。

高い技術力とノウハウを背景にした組織的営業力を強化し、それを常に鍛え続ける。

ダイナミックな国際的流通力を保有し、それを常にレベルアップし続ける。

### ■ 「既存事業の深化」 「新規事業の探索」 「事業ポートフォリオの最適化」

資源循環事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 落じん灰回収自治体の拡大</li> <li>• 全国を視野に入れた広域の片付け・解体事業の強化</li> <li>• 新工場の建設</li> <li>• 大型シュレッダーの設置</li> <li>• プラスチック資源循環促進法への対応</li> <li>• M&amp;Aの推進</li> </ul>
グローバルトレーディング事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 輸出・輸入・三国間貿易と国内外の集荷ヤードの拡大</li> <li>• 鉄・非鉄金属・特殊金属・貴金属の全ての金属スクラップ取組みの推進</li> <li>• 新規商材の開発</li> </ul>
リチウムイオン電池リサイクル事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新規ブラックマス工場の建設</li> <li>• アライアンスの構築</li> <li>• 湿式製錬プラントの設置</li> </ul>
(その他) 障がい福祉サービス事業 環境経営コンサルティング事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 就労支援の充実・農福連携の成長で障がい者雇用の促進</li> <li>• TCFD等の気候変動関連及びサーキュラーエコノミーコンサルティングの拡大によるグループシナジー</li> </ul>

# 成長を持続させるため組織に規律をもたらしガバナンスを強化していく

## 企業理念を組織の隅々にまで浸透させることが最大のガバナンス

### 「監督」

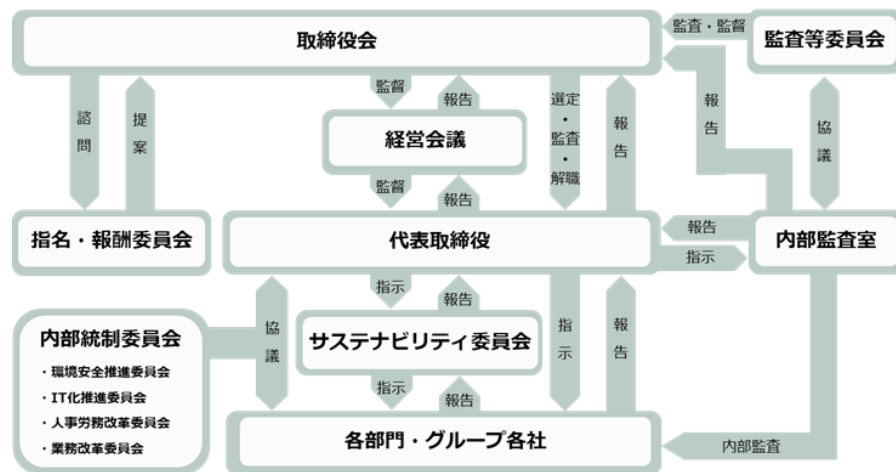
- ・取締役会の過半数以上の社外取締役による独立性の確保継続
- ・取締役会の権限移譲による実効性の向上
- ・指名・報酬委員会、監査等委員会による監督

### 「コンプライアンス」

- ・内部統制委員会の4つの小委員会による管理体制強化
- ・内部監査室の取締役会への報告強化
- ・法務部門によるグループ管理機能の強化

### 「サステナビリティ」

- ・サステナビリティ委員会による中期経営計画の推進
- ・良い企業文化の醸成
- ・良質なエネルギーに満ちた場づくり



【図：ガバナンス体制】

# 戦略を実現し持続的に成長するため社員一同が生き生きと働く良質なエネルギーに満ちた「場」を作る

## 「前提条件」

エンビプログループがやっている事業の社会貢献度を一層上げる。

## 「必要条件」

- ・ 企業理念のもと自主性・創造性の企業風土が醸成されている。
- ・ 待遇面で日本企業の上位30%の会社になる。
- ・ 職場環境を改善する。改善しにくい職場はICTやロボットを使い省人化、無人化、遠隔コントロールで対応する。

## 「十分条件」

- ・ 仕事を通じて自分自身の成長を実感できる。
- ・ 会社の成長と社会への貢献度が同期していることを実感できる。
- ・ 多様な人、働き方が容認され各人が尊重されていることを実感できる。



(組織のイメージ)

**創発的能力を備えた自律した個人の規律ある集団**

# 中計 ～サステナビリティ戦略の概要～ (2021年7月～2026年6月)



## 売上高

**700億円**

(2026年6月期)

291億円  
(2016年6月期)

409億円  
(2021年6月期)

## 経常利益

**40億円**

(2026年6月期)

8億円  
(2016年6月期)

25億円  
(2021年6月期)

## ROE

**15.0%**

(2026年6月期)

8.0%  
(2016年6月期)

12.1%  
(2021年6月期)

### 企業理念

最も大切にしている価値観でありDNA  
(時間軸なし)

「脱炭素社会」「循環型社会」「分散型社会」  
実現に向けた課題解決を  
事業機会としてチャレンジしていく

### ミッション

**持続可能社会実現の一翼を担う**

存在意義、一定の時間軸での目的・志  
(2050年までの30年間)

「企業価値向上に必要な組織の個別機能を鍛える」  
「ガバナンスを強化する」  
「良質なエネルギーに満ちた場をつくる」

### 中期経営計画

(2021/7～2026/6)

長期ビジョン実現のための戦略

#### 【事業コンセプト】

サーキュラーエコノミーの具体的事例の実現

#### 【事業の方向性とそのための主な手法】

地上資源由来の素材メーカーに変革(QCDC)  
全国レベルの回収網確立  
経営活動の全てのプロセスでGX、DXの推進

#### 【目指す姿】

社会インフラとしてのリサイクル業に成長

#### 【組織のイメージ】

創発的能力を備えた自律した個人の規律ある集団

### 単年度事業計画

中期経営計画を達成するための  
具体的な取り組み

前提条件 (2022年7月以降)

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
42,000円/t	1,000,000円/t	6,000円/g	85,000円/kg	1,800円/kg	4,650円/kg	105円/USD

---

## 3. 今期の取り組み紹介

# ①リチウムイオン電池リサイクルの技術開発

エマルションフロー技術を用いたLIBからのレアメタル回収の共同研究を開始 (2021年8月2日公表)

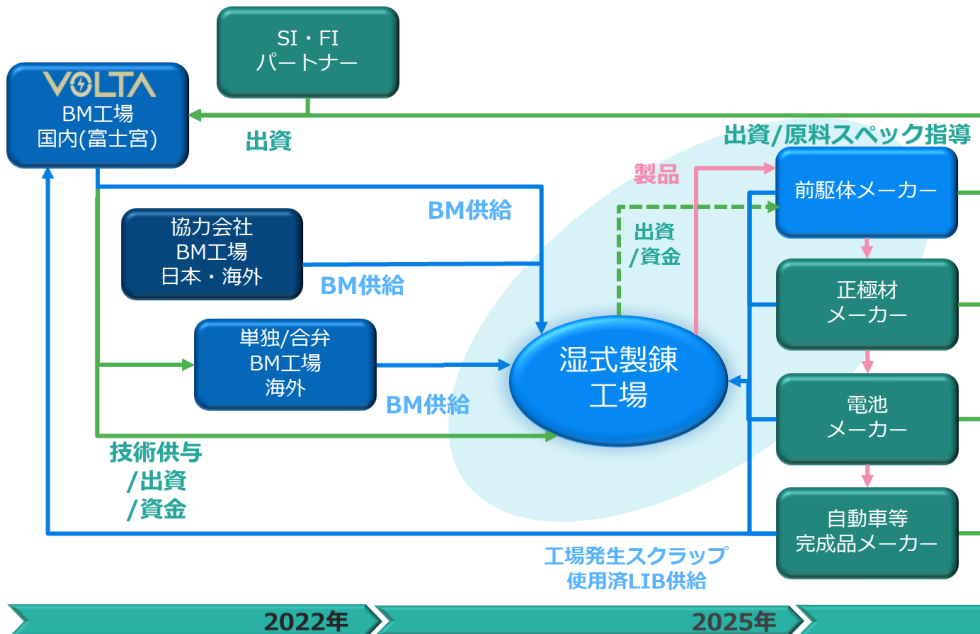
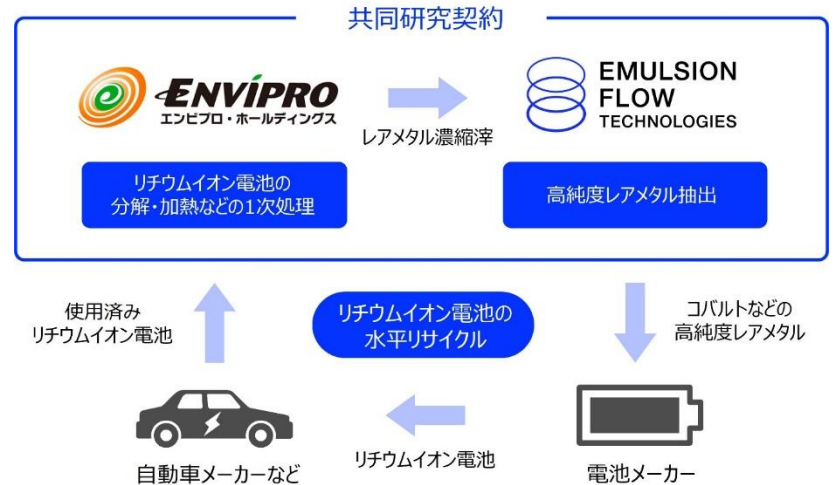
## 〈各社の役割〉

### 当社

- ・ LIBの集荷、1次処理したレアメタル濃縮滓の提供
- ・ 溶媒抽出技術の各種知見の提供

### エマルションフローテクノロジーズ

- ・ エマルションフロー装置のスケールアップ開発
- ・ エマルションフローによるレアメタル抽出フロー開発



LIBリサイクルで協業できる会社（同業者、LIB製造メーカー等）と技術、資金、商材でアライアンスを組む

## これまでの取り組み

- 2010年 LIBリサイクルの研究開発を開始
- 2018年 株式会社VOLTA設立  
LIBリサイクル事業に参入
- 2020年 リサイクル設備稼働  
ニッケル、コバルト、リチウムを含む  
レアメタル濃縮滓の生産・販売を開始

## 今後の取り組み

- 2022年度 既存レアメタル濃縮滓製造工場の拡張
- 2025年度 湿式製錬工場を稼働
- 2025年度以降  
前駆体製造  
クローズドループ（電池to電池）構築

## ②金銀滓回収事業の拡大

連結子会社エコネコルが、「落じん灰・廃棄物破碎残渣・ミックスメタルのリサイクル」による金銀滓回収拡大を目的に新工場の建設を開始（2021年9月28日公表）

### 新工場の概要

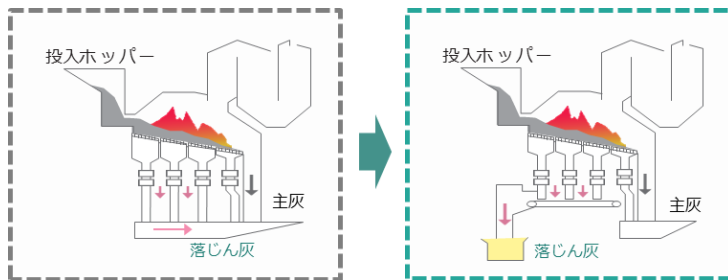
- |             |               |
|-------------|---------------|
| (1) 建設予定地   | 静岡県富士市前田758-1 |
| (2) 敷地面積    | 13,259㎡       |
| (3) 工場延床面積  | 6,040㎡        |
| (4) 総投資予定金額 | 約15億円         |
| (5) 資金調達方法  | 自己資金及び借入金     |
| (6) 着工時期    | 2021年10月      |
| (7) 竣工予定時期  | 2022年12月      |



(新工場の完成予想図)

### 落じん灰からの貴金属回収

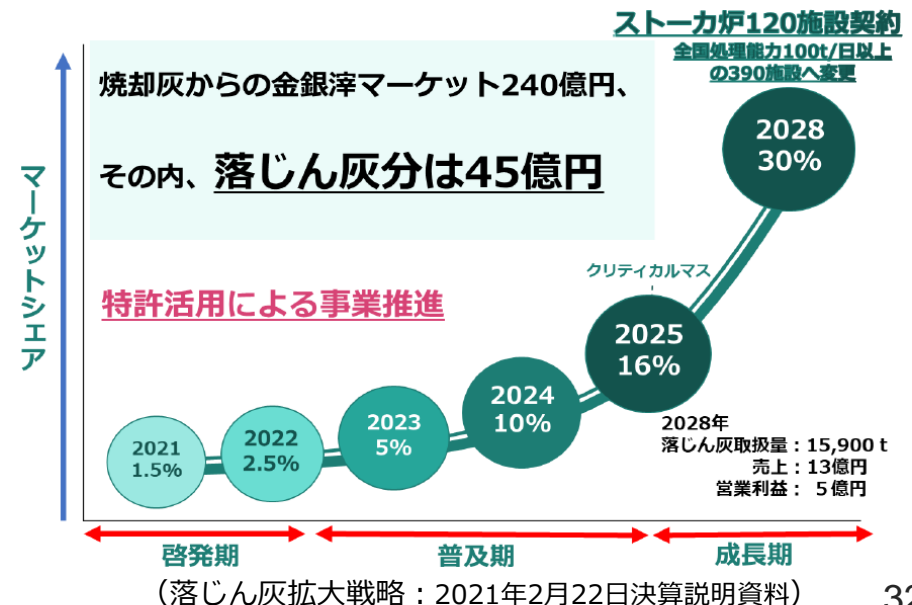
落じん灰を焼却炉から直接別取りできる改造を自治体が実施し、それをグループ各社が購入し、自社のプラントで効率的な貴金属回収を実現



(落じん灰別取り改造イメージ)

### 自治体のメリット

- ①落じん灰の売却益を得られる
- ②落じん灰分の重量の埋め立て費用が削減される
- ③主灰側に行く重金属の含有比率が下がるのでキレート等の費用が削減される





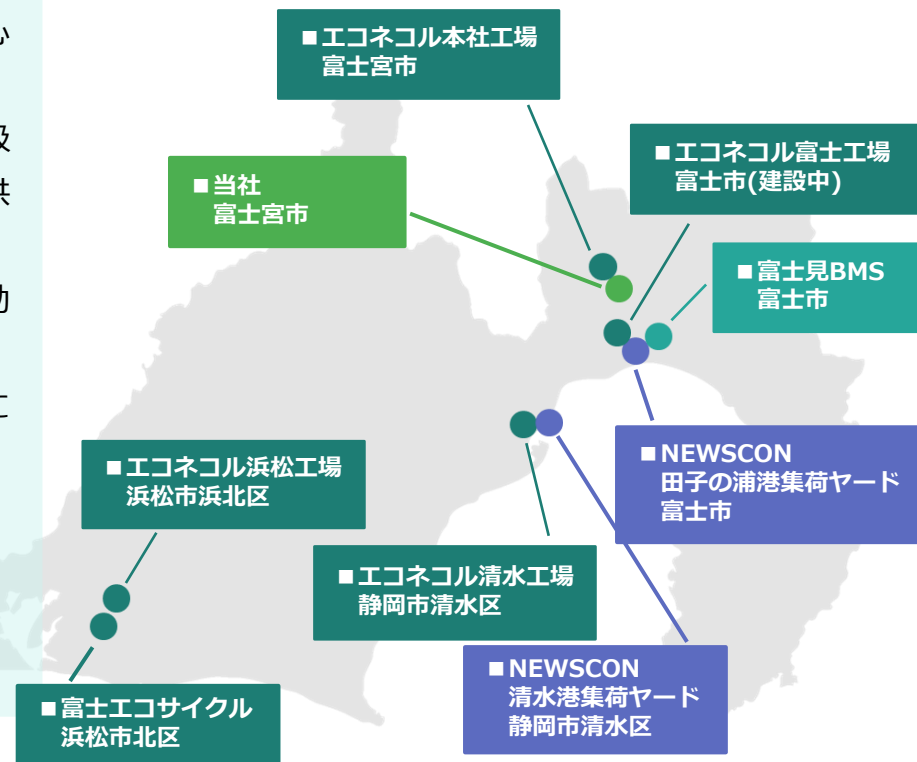
### ③ バイオマス燃料等製造会社のグループ化

産業廃棄物である木くずを破碎し製紙原料、バイオマス燃料等となる木質チップを製造し販売する、富士見BMSを11月に孫会社化（2021年10月25日公表）

## 資源循環事業の主要事業拠点である静岡県でのドミナント戦略を推進

#### 富士見BMSのグループ化により期待する効果

- ① エコネコルの主要事業エリアである静岡県東部地区を中心とした廃棄物の取扱量増加
- ② エコネコルで主に取扱う金属・プラスチックに加え、取扱いの少なかった木くずの処理を広くお客様へサービス提供できることによる顧客利便性の向上
- ③ 共通の事業エリアにおける人的資本の相互活用を通じた効率的な営業活動(仕入・販売)
- ④ 技術・ノウハウの共有による最適化された生産体制構築による生産効率化
- ⑤ エコネコルの富士市の新工場（2021年9月28日付公表）との有機的なつながりによる事業基盤強化
- ⑥ 2050年カーボンニュートラル実現を背景としたバイオマス原燃料の需要拡大への対応



(静岡県内事業所MAP)

## ④広域の片付け・解体事業の強化

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス及び日本機械リース販売と「資産評価を伴う解体・設備処分のワンストップサービス」の提供を目的に業務提携（2021年11月12日公表）

### 資産評価を伴う解体・設備処分のワンストップサービス

エコネコルが長年培ったスクラップ処理・解体のノウハウと、日本機械リース販売の機械設備の査定・売買機能などモノに対する知見を活用し、固定資産の評価、不要となった機械等の再販、資源化まで一貫したサービスを提供



業務提携により情報アンテナ機能・リユース品対応機能を強化。全国を視野に廃棄物の適正処分・金属スクラップの買取り・中古品の売買・工場及びプラントの解体・土壌の浄化を一貫して行い、お客さまの利便性向上に努める。

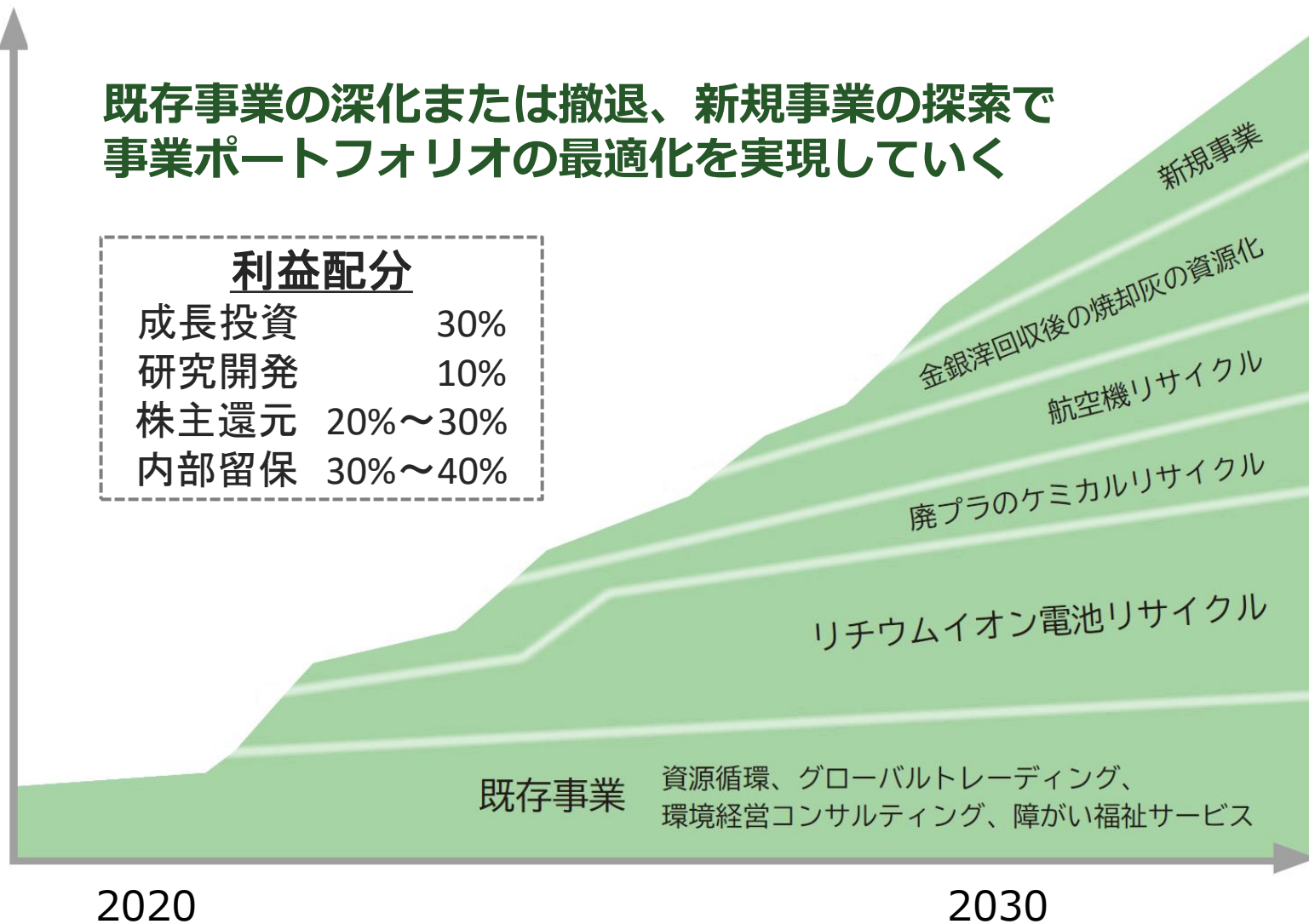
# 企業価値創造の長期的取り組み（イメージ図）

既存事業の深化または撤退、新規事業の探索で  
事業ポートフォリオの最適化を実現していく

## 利益配分

成長投資	30%
研究開発	10%
株主還元	20%~30%
内部留保	30%~40%

企業価値



グループシナジー

既存事業

資源循環、グローバルトレーディング、  
環境経営コンサルティング、障がい福祉サービス

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>